

公益財団法人テクノエイド協会
令和8年度介護テクノロジーメーカー連絡会議

AIプロセッサ搭載カメラによる 次世代の見守り支援を提案する



Profile

東電タウンプランニング株式会社
CS事業本部 事業開発第二部

SMART スマート介護士
営業担当部長
松村史岳

経歴
広告販売・企画制作
イベントプロモーション
商品開発など



Ace care

東電タウンプランニング株式会社

1. 介護施設の共通課題

① 事故リスク増加

転倒、ヒヤリハットなどゼロにできない、リスクをどう減らすか

② 人手不足

夜勤の少人数化、巡回回数の減少

③ 安全管理の高度化

安全性、記録性、説明責任をどう果たすか

2. カメラによる見える化と気づき

従来カメラの役割 = 記録ツール

- ・いまの様子を見る
 - ・事故後に後から確認する
- ▶ 記録・証拠用途が中心

見える化の限界

- ・常時監視は不可能
 - ・異常発生瞬間を見逃す
 - ・人に依存
- ▶ カメラがあっても守れない

結論

これからは「気づく化」

AIが異常を自動検知・必要な時だけ通知
映像をただ`見る“時代からAIが自ら`気づく“時代へ。
それが、次世代の見守りです。

3. 見守りカメラ「Ace care」の紹介



AI学習により検知精度が向上する「未来型の見守りカメラ」

行動検知・転倒検知・状態検知
AIが骨格を検知し転倒を通知



転倒は無くせないが2回、3回の転倒発生を抑止し、転倒のダメージから寝たきりにさせない

ケアプランの見直しに役立てたい

入居者の状態をAIが骨格検知し、転倒を発報

- 状態検知** AIが入居者の骨格から5つの状態「転倒」「臥床」「端座位」「在室」「不在」を検知しアイコンで表示します。
※不在を検知した場合に、任意で「注意」アラートの発報ができます。



- 転倒検知** 転倒や端座位、注意を検知した場合、色(アイコン)と音でアラートを発報します。
見守りに特化しているから、画面もシンプル。

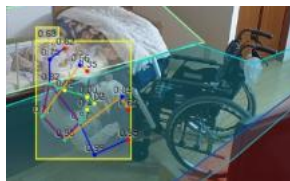


管理モニターや
端末に通知



入居者の状況をPCやモバイル機器で確認できます。

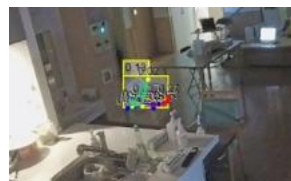
「Ace care」の効果



ベッドから車いす移乗時に転倒



共用部の奥で転倒



夜中の共用部で単独転倒



椅子からずり落ち動けず転倒



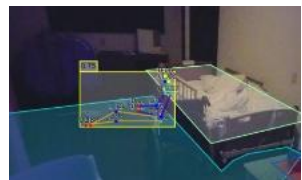
車いすから立ち上がり転倒



椅子からずり落ち転倒



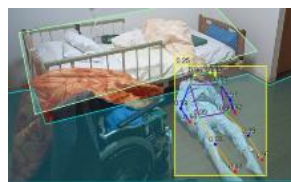
トイレで車いす移乗時に転倒



夜中にトイレ出でつまずき転倒



ベッドからずり落ち転倒



ベッドからずり落ち転倒



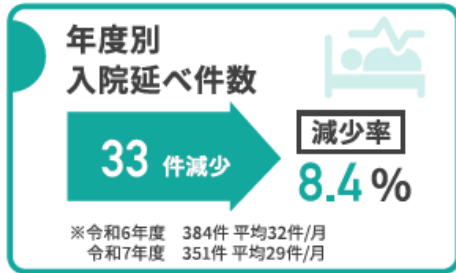
トイレで転倒



車いすからベッド移乗時に転倒

※事例紹介: 栃木県 介護付き有料老人ホーム 宝木荘

「Ace care」の実績



※Ace care導入先施設での実績

生産性の効率を高める機能



✓インシデントレポートのフォーマット化

介護記録ソフトへ転倒発生記録、動画レポートで要点を自動化

✓インカムと連携し、転倒発生を音声と映像で確認

転倒発生を自動音声で伝え、スタッフの対応が迅速化

※連携先はケアデータコネクト連携先のみ

「Ace care」の特長と今後の期待

ヒトが人を判断する定性的な判断を


- AI学習による機能がさらに進化拡張
- 利用者の行動結果からAIが自動分析
- 転倒映像から身体への衝撃を数値化



AIで数値化・定量化

ご清聴ありがとうございました。

Ace care®

 東電タウンプランニング株式会社